

発刊にあたって

平成30年9月6日3時7分に発生した平成30年北海道胆振東部地震から2年半の月日が経ちました。

胆振地方中東部を震源としたこの地震は、北海道で観測史上初めての震度7を記録し、大規模な土砂災害や家屋の倒壊などにより、多くの尊い命が失われました。

改めまして、犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべてのの方々に心よりお見舞い申し上げます。

本地震では、全道で1万6、649名の方が避難生活を余儀なくされたほか、北海道が広範囲にわたり停電となった国内初の「ブラックアウト」が発生するなど、道内のほぼ全域が被害を受けました。特に震源地となった、私たち胆振東部三町では道路、河川、上下水道、農地などの社会基盤・産業基盤が甚大な被害を受け、暮らしや生業はもとより、心にも深刻な打撃を受けました。

そうした中で、発災直後から長きにわたり国や北海道をはじめとする関係機関や全国の自治体職員の災害対応へのご協力、全国各地から駆けつけていただいたボランティアの方々の温かい善意、そして、国内外から寄付金や支援物資など多くの支援を賜りましたことに、改めまして心より感謝申し上げます。

現在、三町ともに復旧・復興の道半ばではありますが、一日も早く町民が元の生活を取り戻し、安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して取り組んでいます。また、震災を機に生まれた新たなつながりを大切にし、さらなる発展につながる復興が実現できるよう、引き続き全国の皆様のご支援をいただきながら着実に歩みを進めてまいります。

近年、全国各地で自然災害が発生し、多くの人命や財産が失われているほか、近い将来には巨大地震、気候変動に伴う台風や集中豪雨の増加なども危惧されています。

こうした中、災害の記憶を風化させることなく教訓として次代に継承することを目的に、この地震記録誌を三町合同で制作いたしました。本書が、全国の防災・減災への取り組みの一助となれば幸いです。

令和3年3月

厚真町長 宮坂 尚市朗

安平町長 及川 秀一郎

むかわ町長 竹中 喜之